

令和4年度 第3回下野市環境審議会 議事録

日時:令和5年1月17日(火) 午前10時～午前11時15分

場所:下野市役所 3階 303会議室

出席委員:中村祐司会長、青木照美委員、荒川浩子委員、後藤勲委員、

野田善一委員、大高京子委員、隅谷サヨ子委員、野沢定雄委員、

新井有明委員、大橋禎恵委員、熊田裕子委員

欠席委員:糸川祐子委員、渡邊欣宥委員

事務局:直井市民生活部長、篠崎環境課長、松本課長補佐、福田主幹、三代主査、山口主査

○次第

1 開 会

2 市民生活部長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議事

(1) 第2次下野市環境基本計画(素案)について

(2) 第2次下野市環境基本計画(素案)パブリックコメントについて

(3) ごみ処理等について

(4) その他

5 閉 会

1.開会

篠崎課長 本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。定刻前ですが委員の皆様がお揃いになりましたので、今から令和4年度第3回下野市環境審議会を開会いたします。

本日司会を務めさせていただきます環境課長の篠崎です。よろしくお願いいたします。はじめに市民生活部長の直井からあいさつを申し上げます。

2.市民生活部長あいさつ

直井 皆さんおはようございます。市民生活部長の直井です。本日はお忙しい中ご出席を市民生活 賜り誠にありがとうございます。

部長 本環境審議会も今回で3回目となり、第2回の審議会では第2次環境基本計画素案につきまして検討を進めていただいたところですが、皆様のご意見をもとに、最終的な素案をご提示させていただきました。本日の審議会では、改めまして市長より諮問させていただき、第2次下野市環境基本計画の案としてご承認がいただければ、パブリックコメントを実施したいと考えております。

本日の素案では、前回からの修正点や追加項目及び第5章の重点取組の展開におきまして、今後下野市がゼロカーボンシティを目指すため、また、気候変動プロジェクトとして、どのような取組を進めていくかを分かりやすく表現するため、イメージ図や取組内容を提示させていただきましたので、後ほど説明させていただきたいと考えています。

さて、前回の審議会でも申し上げましたが、アンケートの調査結果では、市民32.7%約3分の1の市民の方、事業者で47%と予想を上回る回答率となっております。児童生徒のアンケートを含めまして、市民の皆様の環境問題に関する意識の高さを再認識したところです。

今後のスケジュールとしまして、パブリックコメントを実施し、その結果をもって第2次環境基本計画への策定へと進むこととなりますが、是非忌憚のないご意見をいただき、持続可能な地域社会の構築を目指すため、市民、事業者との協働によって重要となる第2次環境基本計画の策定ができますようご協力のほどよろしくお願いいたします。

3.会長あいさつ

篠崎課長 続きまして中村会長よりごあいさつをお願いします。

中村会長 皆さんおはようございます。また、早くも2023年1月の半ばになってしまいましたが、よろしくお願いいたします。

今、直井部長からありましたが、いよいよ素案がまとまりました。前回、皆さんより（素案の）大枠についてはご承認いただきましたが、これから説明がありますが、イメージをより良くしようということで、約90ページに至る素案が出来上がってきました。この辺のところを今日皆さんと確認や要請をしたいと思います。

さて、環境という大きくくりで言えば、2023年になってからガラッと希望に満ちたと言えないことは残念ですね、決して遠い国の出来事ではないロシアのウクライナ侵攻。

考えてみれば、ハード的な環境のみならず、教育環境だとか、子どもたちがのびのび遊ぶ環境だとか、若者が学ぶ環境だとか、雇用の環境だとか、最大の環境破壊といっても良いようなことが、現代に起こっていること。また、そのことが同時に我々を取り巻く生活環境という点でも、物価高、それに伴う賃金が追い付いていない状況、あるいはセキュリティ以外のいろいろな面で、コロナが及ぼす影響だとかという面では、環境ということがこれほど問われている時代もないというふうに思う訳でもあります。

そういう中で、我々は、これだけのものを審議して、ある種の共同作業ということで、いろいろな検討ができるということは凄いことですので、今日は忌憚のないご意見をいただけたらと思います。本日はよろしく申し上げます。

篠崎課長 議事に入る前に資料の確認をさせていただきます。事前にお配りしました資料として、

資料1 第2次下野市環境基本計画（素案）

資料2 ごみに関する説明会

このほかに、本日机の上にお配りしました

資料 指定袋制度に関する住民アンケートについて

資料 下野市消費者まつり・しもつけ環境フェアのパンフレット

があります。皆様お揃いでしょうか。

また、名簿で6番の渡邊委員と8番の糸川委員から欠席のご連絡をいただいております。本日の出席委員は11名となります。下野市環境審議会規則第3条第3項の規定により、委員の半数以上が出席しておりますので、本会議は成立していることを報告します。

それでは、同規則の第3条第2項の規定によりまして、これ以降の議事進行を中村会長にお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

4.議事

中村会長 早速はじめさせていただきます。はじめに会議録署名人の指名をさせていただきます。本日の会議録署名人を名簿順で8番の野田委員、10番の野沢委員にお願いいたします。よろしく申し上げます。

中村会長 それでは早速議題に入ります。こうやって対面で行えることを身に染みて感じているのですが、コロナの終息が、丸三年もたっているのですがなかなか見えてこない中で、進行も、焦る必要はないのですが、やや圧縮ぎみになってきているのと、ここに来てインフルエンザも急増しており、学級閉鎖というところも目立ってきているところ。心配してもキリがないということもあります。インフルエンザとコロナが同時に発症するという事例もあります。私も還暦を過ぎ高齢に入ったのですが、その辺の影響もあるということを知っています。そういうことから、社会経済活動や行政活動、我々のこういう市民活動の一環として重要性があるのだと思います。そのため、ポイント、ポイントごとに審議を進めさせていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

僭越ですが、実は事前に資料をいただいて、今日のこれから入る議題は重要でじっくり行きたいのですが、今日の所のパブコメの説明はともかくとして、その後の(3)の下野市のごみの減量についての議事があります。こちら(基本計画)の方も重要なのですが、ここの部分は皆さんの身近な部分でもあり重要なので、ご意見などもどんどん言っていただければと思います。あと、(4)その他でも事務局の方から路上喫煙の報告などがありますので、ご意見をいただきたいと考えています。その辺を意識しながら(議事を)進めさせていただけたらと思います。

議事(1) 第2次下野市環境基本計画(素案)について

中村会長 ちょっとと長くなりましたが、それでは議事(1)第2次下野市環境基本計画素案、いろいろな情報の調整や市役所の中の主管課との調整などいろいろ苦労されたことと思います。これについて事務局の説明を求めます。

事務局 資料1に基づき第2次下野市環境基本計画(素案)について説明。
(三代)

中村会長 はい。大枠については前回了解していただきましたのですが、変更というよりは、より丁寧に、分かりやすく、勿論活字で言葉をつくして丁寧な説明も必要なのですが、イメージだとか、スッと入っていけること、分かりやすいということです。そして、最後に数字の所も直していただいたところです。いかがでしょうか。質問等がありましたらお願いします。

熊田委員 事前に読ませていただいたのですが、1点だけ。用語の解説は、資料15ページのところから書いていただいておりますが、そこを見れば分かるようになっているのですが、それ以外に先ほど説明があった箇所の下の方にも用語の解説が入っています。ダブっているのは良いのですが、巻末に載っていないで、こちらの下の方の用語のところだけ載っている用語もあるように、ばらつきが見られます。全部を揃えるのは大変だと思いますが、例えばアルファベットで、27ページのCOOL CHOICE(クールチョイス)ですが、環境に詳しい方は、クールチョイスは当たり前のことですが、私もカタカナとアルファベットが入ると何だっけと、年齢を重ねるとあると思いますので、こういうアルファベットやカタカナが入る用語だけでも巻末に入っていないものを入れていただいた方が良いかなと感じました。

中村会長 ありがとうございます、正確にというか精緻に見ていただきました。どうですかね、ページの中の注のところにあるものもあるのですが。

事務局 おっしゃる通り丁寧な説明が必要ですので、前段に載っていても、後段にも載せる。できるだけカタカナやアルファベットについても分かりやすい表記で検討していきたいと思います。

中村会長 多少、そういうところの変更は大丈夫ですね。そこはご指摘を踏まえて、(事務局に)任せてということにしたいと思います。

中村会長 先走って申し訳ありませんが、希望ですが、これだけのものが、この後皆様にご了承していただければ、スケジュール的にはもう一回今年度あるのですが、その時には、

これをどうやって実践してくのか、出来ないというのではなく、どのようにやっていけば良いかというような前向きな意見交換をやっていきたいですね。

どうでしょうか、よろしいでしょうか。

中村会長

ありがとうございました。それでは第2次下野市環境基本計画素案が了承され、素案が変更され、今日の段階では、計画案として良いかということで了承いただければということです。それでは、計画案ということでよろしいでしょうか。

ありがとうございました。我々の審議会でゴーサインが出て、決めつけるのではありませんが、今後、確実に計画案の案が取れていくと思います。ここが今日の一番重要なことでした。こういった誇れるものが出来上がり、胸を張って、世代にかかわらず伝えて行きたいですね。むしろ子どもたちから教わることも多く、私は子どもというより学生なのですが、当たり前のように身に着けていて、特にプラスチックごみの関係においても問題意識を持っており、我々の世代とは全然違うような認識を持っていることもあります。

この計画、今は計画案ですが、了承いただいて、是非いかに活かしていくか、実践の部分で、皆様から次回ご意見いただければと思いました。

議事(2) 第2次下野市環境基本計画(素案)パブリックコメントについて

中村会長

それでは議事(2)のこの基本計画のパブリックコメントにつきまして説明を願います。

事務局

環境課の山口です。2番目の議事であります第2次環境基本計画のパブリックコメントについて説明します。

(山口)

先ほど説明いたしました第2次下野市環境基本計画案について、1月25日(水曜日)よりパブリックコメントを実施する予定です。期間は、2月15日(水曜日)まで行います。パブリックコメントにつきましては広報やホームページの中で周知を行います。

実施の方法は、当市のホームページでの公表と環境課窓口での文書閲覧となります。閲覧時間は午前9時から午後5時を予定しています。意見の提出方法は4つありまして、郵送、ファックス、電子メール、直接持参の方法を予定していきまして、いずれも住所と氏名、年齢、電話番号を記載していただくことになります。なお、住所と氏名のないものは受理しません。いただいた意見につきましては、案の修正または理由を取りまとめ、案を修正した際は最終的に意思決定した案の公表を行います。ただし、その際に意見提出の個別の回答は行いません。

その後3月に実施します第4回環境審議会からの答申をいただいた後に、議会の議決を持って第2次下野市環境基本計画の策定となります。

以上で、第2次下野市環境基本計画(素案)パブリックコメントについての説明を終わります。

事務局

(篠崎
課長)

少し修正があります。議決ということが出ましたが、計画ですので議会の議決はありません。パブリックコメントが終わりまして、内容を審議会の方で確認いただければ、決裁という形で計画案が計画になります。よろしくお願ひします。

中村会長 分かりました。議会の議決ではないということですね。ただ、我々としてはパブコメによって修正したところがあればということですね。

事務局 (篠崎 課長) 議会には、この後、パブコメの計画案につきましては説明いたします。また、パブコメ後の計画につきましても報告していくこととなります。ただ、議決案件ではないということで確認させていただきました。

中村会長 了解いたしました。今、中身についても説明がありましたが、結構この審議会は重いということですね。ただパブコメ後は1ページ削除とかいった大幅な修正ということは恐らくなくて、いろいろな意見を丁寧に吸い上げて、一部文言の修正が入ることもあるということですね。いかがでしょうか。

パブコメは、我々からするとスケジュールが詰まってしまいます。下野市の場合は分かりませんが、その割にあまり意見が出ないということもあります。しかし、やはり1か月近くの期間を置いて、市民の方からの意見を求めるということは、すごい価値があると思います。あまり意見の件数の多さを追うということではなくて良いと思うように、価値観が変わってきました。進める方としてはスケジュールが前倒しになってしまうなど厄介ですが、市民の方には見ていただければということです。

この件は、これでよろしいですね。パブコメの方法等について了承したことにします。

中村会長 冒頭で言わせていただきましたが、ごみの減量化、下野市のごみ処理等について資料を用意していただきましたので、一定の時間という限りがある中で、皆様の意見や、質問をいただければと思います。

議事(3) ごみ処理等について

中村会長 それでは、(3)の議事に入ります。資料はパワーポイントからの資料ですが、事務局説明を願います。

事務局 (福田) 環境課の福田です。お手元の資料2のごみに関する説明会資料とありますが、12月に、小山広域保健衛生組合管内でも燃やすごみが増えている状況があり、ごみの減量化を皆様にお願ひする必要がある中で、小山広域保健衛生組合管内でごみ減量化施策の一環として、焼却施設の整備計画があり、その計画の規模の中では、通常通り燃やすのが難しいぐらいの燃やすごみの量が発生しつつあるということもあって、様々な減量化の取組を進めているところです。その中で住民の皆様説明会を開催してきたところです。

資料2でごみ処理の現状というところから説明させていただいたところです。

(以下、資料2に基づいて、説明会での説明内容を報告。説明略)

説明会は市内3地区3か所ずつ計9回で188名の方に参加いただきました。以上駆け足となりましたが説明会の報告をさせていただきます。

中村会長 丁寧に説明をしていただいたということですね。最初に身近と言いましたが、広域行政の小山市と野木町との関連もあり、日々の活動とともに、大きな視点も非常に重要だということです。どうでしょうか、ここは少しフリートークで願います。

野沢委員 この資料を見て非常に良いなと思いました。質問する前に説明されましたが、3 地区の何カ所かで行い 188 名が参加したということですが、これは自治会長宛に説明会の案内を出したということでしょうか。

事務局 (福田) そうです。自治会長さんには開催の案内をさせてもらっています。ただ、コロナ禍の時期で、コロナが落ち着いて間もない時期に行いましたので、もし関心をお持ちの場合は個別に説明会を開催しますと案内いたしました。いまだコロナ禍でもあり、日程調整等はありません。

野沢委員 ありがとうございます。私は説得力があって非常に良い資料だと思っています。是非これを活用したいなと思います。2 つほど提案があります。

一つは、毎年 3 月末に (ごみ) カレンダーが来ますが、そこに 1 枚追加して、今回問題となっているところの分別を良くしてくださいという写真がありました。そういうのを下野市のカレンダーの中に 1 枚だけ追加して、ごみの分別を良くしてくださいということを強く PR しても良いかなと思います。本当はこの (資料) 1 冊欲しいぐらいなのですが、これを仮に 1 枚ぐらいに、ポイントだけ集約したのを付けたら、皆さん徹底するのではないかなと思っています。

2 つ目ですが、実は去年自治会長をしており、資源ごみ回収の報奨金の制度をやりたいと思ったのです。ところが、どこからどのように手をつけたら良いのか、自分の所からどのくらい出るのか把握しないと駄目だと。アルミ缶など結構な量になるのではないかなと思い、やってみようかと考えていたのですが、数量が出る前に自治会長が変わってしまいました。結論から言いますと、そういうことを希望している自治会も結構あると思うので、そういうことをやろうとしている自治会向けに説明会を行ったらと思います。申請書の用紙は研修会でもらったのですが、いきなり申請書に細かく書くのが難しいので、どこから始めて、どのように、どこから業者を選ぶのかなどを 1 時間くらいで説明会のような会を開いていただくと、(取組が) パッと広がるのではないかな。私の所では新聞やアルミ缶ものすごく出るので、報奨金をいただいで行ったら相当な額になるのではないかな。自治会によっては 7 万とか 10 万くらいいただいているというところも、私がアンケートとった時に聞き、是非やりたいと思いましたので、説明会などを考えてみたら良いかなということ。です。

中村会長 貴重なご提案ですね。今即答ということではなく。どうですかね。

事務局 (篠崎 課長) まず、カレンダーの方の内容ですが、もう少し強く PR できるような内容になるのであれば、検討してみますが、紙面の関係もありますので、その辺はご了承いただきたいと思います。

資源回収の説明会ですが、やっていない自治会等もありますので、今後、PR を含めて説明会を出来るように検討します。

野沢委員 分別の悪い例を見えるようにするというのは非常に重要だと思います。自治会長の時は 2 月に 1 回程度は、分別の悪い例の写真を撮ってきて、回覧で A4 判 1 枚に写真を付けて説明すると、皆さん結構分かってくださいます。そういうのを活用していただければと思っています。

中村会長
荒川委員

今回の資料での分別の写真は結構分かりやすいですね。

このごみの説明会、グリの館の方へ出席させていただいたのですが、当日かその前、下野新聞に、石橋地区において「茂原の施設使用は3月まで」「有料ごみ袋になる」という記事が先に出てしまったのです。これはまずいということで近所の人を誘って、どのような内容を説明されるのかということで出席させていただきました。実際に行ってみると、その話は最後の方で、担当の福田さんから新聞の話もありました。やはり、ごみの説明会に行ってみて、石橋地区は、茂原を建てる時に土地をいくらか提供していたというか、買っていたといういきさつもあります。今までずっと茂原を使わせていただき、還元して、お風呂とかにも使わせていただいたこともあったのですが、やはり一緒に小山広域に入るにしても、そういう流れも少し頭に入れていただきながら、宇都宮市とも上手く、すっきりした形にして、新しい市として、新しい広域に入れるようにしていくのが理想かなと思うのです。やはり、新聞に先に出てしまうと、市民としては不安もあるので、その辺りの流れも踏まえ、市は新聞等に出る際はよく内容を確認して掲載してもらえればと思いました。

説明内容につきましては、分かりやすく、男性の方も結構居ました。男性の方もごみに関心があるのだなと感じた気がしました。

中村会長

そうなのですね。石橋の地区はクリーンパーク茂原に近いので、そういう経緯があったのですね。ありがとうございました。

隅谷委員

とても分かりやすい資料で、説得力があるなと感じています。この説明会の一部で良いのですが、環境フェアの時に何か展示するという予定はありますか。もし無ければ私たち消費者生活グループの所で、ごみ減量化を取り扱うので何枚か一緒に展示させていただければと思っています。これが一つです。

もう一つは、前回の時に、茂原のごみ焼却施設の火災ということに私たち消費者生活グループはとても関心をもっていました。その原因が何かということは公にされていないし、分からないのですが、リチウム電池ではないかとか、そういう意見があったので、下野市（の分別）にはリチウム電池の分別が載っていないということに気がついて、環境課の方に申しましたら、「さんアール」の所の有害ごみの中に、乾電池（リチウム電池）とか、リチウム電池又はボタン電池という項目も付け加えていただき、早速対応してくださりありがとうございましたということです。

中村会長

素晴らしいことですね。今日チラシもお持ちで、実践の所で連携がというすごく良い話ですね。

事務局
（篠崎
課長）

提案の方、展示につきましては、この後、担当と相談させていただき、可能な限り協力させていただきます。

隅谷委員

もし、よろしければ一緒に、ごみ1日1人30g、今日38gに変更になったので、「1日1人38g減らしましょう」としようかなと思っていますが、そこにこの資料の一部が貼り付けられるともっと分かりやすいのかなと思っていますので、少し考えさせていただきます。

- 事務局
(篠崎
課長)
- 先ほどのリチウム電池の件は「さんアール」の中で対応させていただきましたが、ごみカレンダーは未だ直していませんので、新年度のカレンダーにはできるだけ対応したいと思います。
- 中村会長
- 本当に重要な問題で、フェアというか、本当にいきいきと、そういう風にできるということが、ものすごく輪が広がっていきますね。
- 今、「スポごみ」とかもだんだんと注目されてきて、楽しみながら取り組めることが大切ですね。
- 青木委員
- 私事ですが、こちらに資源回収報奨金とありますが、町内の子ども会から年に何回か「廃品回収を行い、新聞や段ボールなどを集めます」と、お知らせが来ておりましたが、それは協力できるのですが、たまに雨が降ったりして中止になってしまった時には、そちらに出せないのですごく溜まってしまいます。子ども会の方に、協力して出せばお金になるのに、結果、ごみとして出してしまうこととなります。
- また、別の小さなグループがアルミ缶を集めているので協力しています。その小さなグループは、依頼者に対して支援しており、資金が少ないから少しでもその分が援助になるということです。
- (資源回収報奨金は)自治会さんでも(ごみの回収における)良い動きになると思っています。
- 別の小さなグループにおいては、あまり情報を発信していなく、友達に発信しているということですが、やはり、周辺の小さなコミュニティそれぞれで、資源回収報奨金交付制度を利用して資金を集めるという方法もあるのではないかと考えています。
- 中村会長
- 担い手がということですね。小さいグループということは市民的なということですね。業者ではなく。
- 青木委員
- そうです。小さい地域で、少しずつ、お年寄りがメインでお手伝いしているということですね。
- 野沢委員
- 今の件ですが、それは自治会でなくても申請書で申し込めるのですかね。例えば私どもの自治会の中ではなくて、高齢者サロンとかいろいろな団体があります。例えば、いくつかの人が集まった高齢者サロン会のようなものを造った場合に、それは予算にもなりますし、資源回収的にみんながちょっと集まって話す機会もできるので。自治会としてではなく、そういう団体としても申請ができるのでしょうか。
- 事務局
(篠崎
課長)
- 今、要領を詳しく見ていませんので、何とも言えないのですが、基本的には報奨金を支出するという関係で、基本的には公共的団体等ということになると思いますので、青年団とか、PTAとか、子ども会、自治会は公共的団体になりますので問題はありませぬ。ですから申請していただく段階で課の方に相談いただき、支出できる団体か確認した上で、報奨金を支出していければと思います。よろしくお願いします。
- 後藤委員
- ごみに関してですが、道の駅では毎日大量のごみが発生するわけなのですけれど、テナントさんも結構入っておりまして、ごみの扱いも説明会を戸口で開いてもらい、いろいろ対策をとっているのですけれども、分別するのは当たり前なのですが、例えば弁当箱、プラスチックや割箸等に分けています。持っていく人(業者)によっては、

ご飯粒が付いていると駄目で燃えるごみの扱いだとか、弁当のパックはきれいに洗ってから出してくれとか言われる。それがあると大量の水が使われるし、時間的に間に合わないようなことが出てきてしまいます。その辺が持っていく方によって、様々な意見があり、いろいろ言われるのですけれど、ある程度統一した見解を市の方で出していただけるとありがたい。当然、弁当の残りなどはきちんとしているのですが、ちょっとキャベツやご飯粒が付いていると駄目だと言われるので、その辺はある程度徹底していただきたいなと思います。

それから家庭用ごみもそうなのですが、太陽光パネルが初期投資でかなり普及した段階の太陽光パネルがそろそろ寿命を迎えてくる。大量の廃棄がこれから出てくると言われているのですが、その対応について市の方で何か言われたことがあるのか心配なのですが。

中村会長 2点ほどありますが、確認していきましょう。最初にプラスチックごみ、汚れたままで回収するのか、洗って出せということでしょうか。

事務局 (篠崎 課長) プラスチックごみについては、担当から説明させていただきます。太陽光パネルについては、特に今のところ検討はされていません。ただ、今後実際に廃棄される時に、どういう風に処理するのか、コスト面とか問題がありますので、それらを含めて、今後研究していくという、これからの課題です。

事務局 (福田) 事業系、家庭系ともプラスチック容器包装法の基本としては、できるだけリサイクルして欲しいということでご案内させてもらっているところではあります。丁寧に一個一個洗ってくださいということは簡単なのですが、やる方とすれば大変な作業になりますので、出来る限りということで、基本は燃やすごみということではなく、資源として扱いたいという意向はありますので、こちらを優先的に考えていただいて、どうしても洗っても無理だなという場合には焼却しても仕方がないのかということがあります。可能な限りプラスチックを有効に使っていくということになります。回収する業者さんの見解によって多少変わってきてはしまうと思うのですが、こちらとしてはそういうご案内という形になっています。

中村会長 奥が深く難しい問題ですね。ありがとうございました。
次にその他に行きたいと思います。

議事(4) その他

中村会長 委員の皆様でその他について何かございますか。よろしいですか、それでは事務局からその他でございませうか。

事務局 (松本) その他の一つとして、下野市路上喫煙防止に関する条例の進捗状況です。令和3年度から実施されてきましたところです。6月と11月に調査をしました。路上喫煙されている方はあまり少なく、吸っている方は人数的にはあまり多くはないのですが、駅の東口の方では、学生さんも多くいる次第です。

(以下、調査結果について説明。説明略)

次に、こちら今月29日から2月5日まで、消費者まつりと環境フェアを、ここ2年はコロナ禍で展示のみとさせていただきますが、今回、コロナの方も増えてはいる

のですが、気を付けて行うということで開催します。会場は石橋地区の公民館、昔、石橋病院があった跡地に公民館が出来ましたので、そちらの方で行います。29日はオープニングイベントを行い、展示の方を一週間させていただきますので、よろしければ、見に来ていただければと思います。

続きまして審議会の話になります。今回はパブコメが終わった3月10日(金曜日)、時間は同じ10時から、会場は2階の203会議室で行う予定です。よろしくお願いいたします。

事務局
(篠崎
課長)

また、指定袋制度に関するアンケートにつきまして、参考として資料をお配りしました。こちらは小山市と野木町を含めて、小山広域保健衛生組合で行ったものが資料となっています。内容につきましては後ほどゆっくり一読していただければと思いますが、全体としましては、指定ごみ袋については概ね了解という形のアンケート結果になっています。袋につきましても小山広域で共通の袋で良いのではというご意見になっています。以上です。

中村会長

いろいろとありがとうございます。
それでは、本日の議事は全て終了しました。進行の方を事務局にお返しします。

4 閉会

篠崎課長

皆様長時間の審議お疲れ様でした。
それでは、本日の議事は全て終了しました。以上で第3回下野市環境審議会を終了いたします。